

# 令和4年第1回市議会定例会代表質問一覧表

1 日 時 令和4年3月4日(金) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- |               |     |           |
|---------------|-----|-----------|
| (1) 新緑水クラブ    | 30分 | (1) 北川明夫  |
| (2) 市友会       | 30分 | (2) 蔵満秀規  |
| (3) 公明党       | 30分 | (3) 石丸喜久雄 |
| (4) 子どもたちに青い空 | 30分 | (4) 村瀬晃代  |
| (5) 日本共産党議員団  | 30分 | (5) 坂 ゆかり |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 北川明夫議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 コロナ禍の経済状況と市政運営方針について	1 コロナ禍による経済不況に漸く緩和の兆しがみられる一方、景気回復の二極化、原材料価格の高騰や国際情勢の悪化等による下振れリスクが懸念されている。こうした中で、本市の税財政状況と今後の市政運営方針について伺う	(1) 企業の設備投資に係る固定資産税の増収等により、税収がコロナ禍前の水準程度に回復する見込みとのことだが、市税全体の今後の見通しはどのようなか (2) 当面するコロナ対策を果敢に実行しながら、大規模プロジェクトや公共施設の長寿命化対策への財源確保を図っていくための市政運営方針はどのようなか	
2 まち・ひとを守るについて	1 第6波による感染拡大が収束しない中で、3回目のワクチン接種や5～11歳の小児へのワクチン接種等が急がれている。また、高齢者施設の利用者や障害者・障害児への支援策の強化が求められている。そこで、本市の現状と今後の対応について伺う	(1) 当面のコロナ対策では、3回目の追加接種と小児への早期接種が鍵となるが、それぞれの現状と課題及び今後の対応はどのようなか (2) 高齢者施設の利用者のワクチン接種の状況はどうか。また、これまでの支援内容と今後の対応はどのようなか (3) 障害者・障害児のワクチン接種の状況をどのように把握しているのか。また、ワクチン接種を促進するため、今後、どのような支援策を講じていくのか	
	2 風水害や地震災害の危険性が年々高まっており、コロナ禍との複合災害の発生が現実味を帯びてきている。また、不安定な国際情勢が続く中で、いつ緊急事態が起こるかかわからない状況である。そこで、当面の対応策について伺う	(1) 防災マップは、家庭内のいつも見える所にあり、直ぐに手に取れ、活用できることが第一だが、どのような内容とアイデアを考えているのか。また、防災マップと拠点避難所等の現地標識との整合性は取れているのか (2) この時期に、Jアラートと他の情報伝達手段との連動を強化することは、極めて重要であるが、現状の仕組みからの変更点と具体的な効果はどうか	

3 人を育むについて	1 2年を超えるコロナ禍で、小中学校の教育環境等は激変しており、子どもたちや教職員等の苦労は計り知れない。今後は、できるだけ早く日常を取り戻す一方で、教育環境の改善を進めて、子どもたちの成長や教職員の働き方改革につなげることが重要と考え、そうした改善策について伺う	(1) 民間施設での水泳授業は、学校プールを利用していた時と比べ、どのような改善効果が出ているのか。また、民間委託を実施していない小学校4校と中学校4校についても、早期の実施が望まれるが、今後どう対応していくのか (2) 小学校の部活動の廃止に伴い、地域等の協力を得て、子ども教室の拡充が計画されているが、スポーツや音楽の指導者をどのように確保する考えなのか	
4 暮らしを応援するについて	1 コロナ禍にあって、子育て家庭を取り巻く環境は、経済的にも精神的にも厳しい状況が続いている。行政には、よりきめ細かいサービスの実施や支援策の拡充等が求められている。そこで、主な対応策の内容について伺う	(1) 障害児サポーターの勤務時間を拡充するが、現状はどのような課題があるのか。また、1時間延長によって、どのような効果が期待できるのか (2) 本市の不妊治療費助成制度は、特筆すべき子育て支援策であるが、今回の保険適用の拡大に伴う見直しにより、助成内容や手続きに変更が生じるのか (3) 子ども医療費助成の更なる拡大により、全国有数の支援制度となるが、過去3年間の助成額の実績はどのようなか。また、拡大対象の世帯への周知方法は、どのように行っているのか	
	2 施政方針では、「2025年問題を見据えて、元気な高齢者を増やしていけるよう高齢者支援施策を一部見直す」との方針が打ち出されたが、今後の見直し方針等について伺う	(1) 健康づくりや生きがいづくり、外出促進等に重点的に取り組むため高齢者支援施策を一部見直すとのことだが、その趣旨と具体的な取組内容はどうか (2) 現行の要介護高齢者福祉タクシー料金助成の利用状況と課題は何か。また、今回の拡充により、利用者はどのように増加する見込みなのか	

<p>5 まちをつくるについて</p>	<p>1 活力ある地域経済を持続的に発展させていくために欠くことのできない西知多道路の整備を始め、各地区の土地区画整理事業や新駅整備等が順調に進められている。そこで、一部の主要事業の進捗状況と課題等について伺う</p>	<p>(1) 太田川駅西土地区画整理事業について、企業誘致の第2回募集等の進捗状況はどうか。また、立地適正化計画改定案で求めている土地の嵩上げや海岸堤防の改良、津波に対する環境保全林の整備は、どのように進めていくのか</p> <p>(2) 新駅開業まであと2年と迫ってきたが、駅名の決定とそれに伴う費用負担は、今後どのように定められるのか。また、エレベーター等を含む新駅関連施設の将来的な維持管理経費の負担区分についてはどうか</p>	
<p>6 ひとを呼ぶについて</p>	<p>1 アフターコロナを見据え、本市の高いポテンシャルを活かした観光都市をめざすには、観光ビジョンの重点プロジェクトを着実に進める必要がある。また、公共施設のリニューアルを、地域資源の創造につなげることも大切である。そこで、主な取組について伺う</p>	<p>(1) 四季イベントと連携して行っているライトアップは、これまでの成果をどのように評価しているのか。また、ライトアップの映像データは多方面での利活用が可能なので、市内外への積極的な情報発信を検討してはどうか</p> <p>(2) 文化センターに代わる拠点施設は、3つの基本コンセプトの下で、引き続き生涯学習や創造活動を支え、様々な交流促進をめざすとのことだが、映像を中心とした創造活動の場を誰によって、どのように創り上げていく考えなのか</p> <p>(3) 農業センターのリニューアルは、市内外の民間事業者に対し参入可能性調査が進められてきたが、これまでの成果はどのようなか。また、大池公園や周辺施設と連携した取組について、検討状況はどのようなか</p>	
<p>7 新たな生活をつくるについて</p>	<p>1 デジタル推進課が稼働して1年になり、オンライン手続等の拡大を始め、民間事業者等とのデータ共有やテレワーク等の業務効率化など、多方面での見直し改善が本格化し始めている。そこで、当面の取組について伺う</p>	<p>(1) 保育業務支援システムの導入実証実験は、保護者と保育園との間で、どのような情報交換の効率化が図られるのか。また、早期に全保育園で実施されることが望ましいが、どのような課題が考えられるのか</p> <p>(2) 今後、デジタル格差への適切な対策が必要となるが、本市のDX推進基本方針の中で、どのような取組を推進していく考えなのか</p>	

	<p>2 現在、地域社会を持続可能にするため、コミュニティを中心とした地域運営体制づくりが進められている。そこで、今後の進め方等について伺う</p>	<p>(1) 緑陽地区を始め4つのコミュニティが参加し、モデル事業の取組が始まるとのことだが、具体的にどのような事業内容とスケジュールを考えているのか。また、他の8つのコミュニティへの展開は、今後、どのように進める方針なのか</p> <p>(2) 地域の主体性を高めるには、ヒト・モノ・カネの支援の充実が不可欠だが、先行する緑陽地区に対しては、どのような支援策を講じていくのか</p>	
<p>8 住み続けられるまちづくりについて</p>	<p>1 施政方針の中で、花田市長は、SDGsの理念を活かした第7次総合計画を策定することと、脱炭素社会の実現のため、ゼロカーボンシティ宣言を表明されたところである。そこで、それらの取組の現状について伺う</p>	<p>(1) 第7次総合計画の策定に向けて、市民意識調査と市外から見た本市のイメージ等の調査が実施されたが、本市のまちづくりへの評価や各施策の満足度等については、どのような調査結果であったのか</p> <p>(2) ゼロカーボンシティ宣言を受けて、住宅用太陽光発電設備等の設置促進を、どのように強化するのか。また、宣言の趣旨を市民全体のムーブメントにしていくため、ゼロカーボン提案制度のような啓発企画を実施してはどうか</p>	

質 問 者	2 歳 満 秀 規 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 まち・ひとを守るについて	1 市長が選挙公約として市民に約束された、コロナ禍での市独自の市民生活・市内事業者応援措置等について質す	(1) 出生児臨時特別給付金をはじめ、食事券の配付やキャッシュレス決済ポイント還元等、市長が公約として掲げた政策の実施状況について聞きたい。また、コロナ禍での市民生活・市内事業者応援措置として実施された、市独自施策の効果について聞きたい (2) 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない現状において、大きな影響を受ける市内飲食店をはじめとする市内事業者について、令和4年2月実施のキャッシュレス決済ポイント還元につき、新たな救済措置も検討すべきと考えるが、市の考えを聞きたい	
2 人を育むについて	2 新型コロナウイルスから市民の生命・生活を守る最も有効な手段とされるワクチン接種について、希望する市民全員の接種が急務と考えることから、その実施状況等について質す	(1) 接種を希望しない理由の一つとして、疲労、筋肉や関節の痛み、寒気、発熱等が報告されているが、接種開始から現在まで、本市の集団接種会場における副反応の事例について、その症状、件数及び対応について聞きたい (2) 5歳から11歳までの接種について、2回の接種を実施しているが、副反応発症時にその症状をうまく伝えられない年齢でもあり、ワクチン接種にかかる保護者の安全性に関する不安も大きいことから、市の対応策を聞きたい	
2 人を育むについて	1 コロナ禍における教職員の労働負担が危惧されるが、その業務実態及び対応策について質す	(1) 児童生徒の新型コロナウイルス感染拡大により、学級閉鎖等が相次いでいることから、現在の取組状況について聞きたい (2) 新型コロナウイルス対策により増大している教職員の労働負担軽減を図るため、業務の一部を教職員以外に委託する等の考えについて聞きたい	

	2 教職員の働き方改革に伴う小学校課外活動の廃止等について質す	<p>(1) 教職員の長時間労働が社会問題となる中、令和4年度から小学校の課外活動が廃止となるが、これまでの課外活動の実態及び廃止に至った経緯について聞きたい</p> <p>(2) 教職員の働き方改革の必要性は、中学校においても同様であるが、中学校の部活動の今後の動向について聞きたい</p> <p>(3) 子どもたちの生きる力を育むためには、体を鍛え試合で勝つ喜び、負ける悔しさを体験することが重要だと考える。現在市内には、小学生を対象としたラグビー、サッカー等、各種スポーツをボランティアで指導されている団体が多く存在しているが、今後は、指導員の募集や様々な競技のスポーツ団体設立及びそれに伴う助成金制度の創設等、市として何らかの形で支援していくことも検討すべきと考えるが、市の考えを聞きたい</p>	
3 暮らしを応援するについて	1 出生数の伸び悩みを解消するため、公立西知多総合病院における分娩再開に向けた見通しの把握状況について質す	(1) 当市の子育て環境は、一定の評価を得ているものの、市内には産婦人科が一院もなく、出生地が東海市という市民はここ数年0人である。公立西知多総合病院開院以降、様々な方々の努力は理解するものの、結果として未だ分娩再開に至っていないが、分娩再開に向けた今後の見通しの把握状況について聞きたい	
	2 高齢者の健康づくり・生きがいづくりについて、2025年問題を見据え、誰もが地域でいきいきと安心して元気に暮らせるための重点的取組について質す	(1) 健康づくりのきっかけづくりとして、また地域での居場所や活動の場を見つける生きがいづくりを目的に、新たに各種ポイント付与事業に取り組むとしているが、その内容について聞きたい	
4 まちをつくるについて	1 大規模な整備が進められている西知多道路及び大田インターチェンジ（仮称）の進捗状況等について質す	<p>(1) 市内に関する西知多道路及び新設予定の大田インターチェンジ（仮称）整備の進捗状況について、今後のスケジュールも含めて聞きたい</p> <p>(2) 現在、横須賀及び加家インターチェンジにおいて、出退勤時の渋滞が慢性化しており、西知多道路及び大田インターチェンジ（仮称）に寄せる市民の期待は大きいですが、整備完了時の交通渋滞への影響について聞きたい</p>	

5 ひとを呼ぶについて	1 アフターコロナを見据えた、魅力あふれる観光資源の発掘による、交流人口の増加やにぎわいの創出の取組について質す	(1) 初の試みであった聚楽園大仏のライトアップは、報道機関やSNSでも市内外の多くの皆様に取り上げられ、当市の知名度は全国規模でアップしたものと考えているが、聚楽園公園全体を視野に入れた今後のライトアップの実施内容について聞きたい。また、休日は、予想を大幅に上回る来場者によって、駐車場の混雑が見受けられたが、今後の対策について聞きたい	
	2 新たなまちづくりの拠点施設の整備について、文化センターに変わる新たな施設や、農業センターのリニューアル等、市内のにぎわいづくりに大きく期待できる施設整備が予定されているが、一方で、莫大な税金の投入や、建設後に発生するランニングコスト等、将来の財政負担の増加が危惧されることから、その内容について質す	(1) 人口増加もなかなか見通せない中で、今後は、小中学校や市民体育館等の老朽化対策が急務であり、新たな公共建築物の建設について、市の考えを聞きたい (2) 今後、公共施設については、計画的な施設管理に基づき、ランニングコストの縮減が図られた施設であり、更には、自然エネルギーを最大限活用した、地球温暖化防止に貢献し得る施設であるべきと考えるが、市の考えを聞きたい	
6 住み続けられるまちづくりについて	1 脱炭素社会の実現に向けた取組について質す	(1) 策定予定の「東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」について、検討を行う協議体の構成員及び計画の内容をどのように考えているか聞きたい (2) 公用車の更新に合わせ、電気自動車をはじめとした次世代自動車の導入を検討しているが、現在の保有台数及び、更新スケジュールについて聞きたい (3) 現有車両について、使用頻度や走行距離等を調査の上、保有台数の見直しを行うとともに、車両のシェア方式等を更に進める等、極限まで台数を減らす取組を進めるべきと考えるが、市の考えを聞きたい (4) 電気自動車については、発電所が火力発電に依存している現段階においては、地球温暖化対策としての大きな成果は得られないものとする。電気自動車導入に合わせて、自然エネルギーによる発電設備及び充電設備を設置し、脱炭素社会に貢献すべきと考えるが、市の考えを聞きたい	



質 問 者	3 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 経済見通し・本市を取り巻く状況について	1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が懸念される中での、令和4年度及び今後の財政状況について問う	(1) 令和4年度の市税収入の見込み及び今後の財政状況はどうか	
2 まち・ひとを守るについて	1 新型コロナウイルス感染症のオミクロン株による第6波の市中感染状況や3回目のワクチン接種及び5歳から11歳までのワクチン接種の推進について問う	(1) 本市におけるオミクロン株による第6波の市中感染状況をどのように分析しているか (2) 第6波の感染拡大による公立保育園や小中学校への影響はどうか (3) 3回目の新型コロナワクチンの接種状況はどうか (4) 5歳から11歳までを対象としたワクチン接種の実施はどのようにしていくか	
	2 市民生活や市内の事業者を応援するため、市独自で実施した対策の実績と効果を問う	(1) 市内飲食店応援食事券発行事業の実績と効果はどうか (2) キャッシュレス決済ポイント還元事業の実績と効果はどうか	
	3 令和4年度に更新する防災マップについて問う	(1) 更新する防災マップの内容と特徴はどうか	
3 人を育むについて	1 平成30年度から順次導入している民間施設での小学校の水泳授業の内容と効果について問う	(1) 民間委託を導入した小学校と民間委託を実施していない小学校での授業内容の違いと効果の差はどうか (2) 民間施設での水泳授業を初めて中学校2校にも導入することだが、期待する効果はどうか	
	2 現在の週2回開催から、週3回開催できるよう拡充するとしている子ども教室について問う	(1) 子ども教室の内容及び参加人数の現状はどうか (2) 子ども教室を週3回開催できるよう拡充していくとのことだが、12小学校全校で開催できる目途は立っているか	
4 暮らしを応援するについて	1 高齢者の健康づくりや生きがいづくり、外出促進等の高齢者支援策について問う	(1) 新たにスマートフォンアプリやスタンプ台紙によるポイント付与事業を開始するとのことだが、内容と期待する効果はどうか (2) 要介護高齢者のタクシー料金の助成を要介護1・2の高齢者にも対象を拡大するとのことだが、内容と対象人数はどうか	

5 まちをつくるについて	1 太田川駅西地区及び名和駅西地区で進められている土地区画整理事業について問う	(1) 太田川駅西地区には、大型物流施設や商業施設が進出してくる予定とのことだが、具体的にどこの施設か (2) 名和駅西地区で計画が進められている土地区画整理事業の事業計画の概要はどのようなものであるか	
6 新たな生活をつくるについて	1 市役所に行かなくてもスマートフォン一つで各種手続き等ができるシステムの開発及びデジタル機器の扱いに不慣れな高齢者向けのスマートフォン講習会の開催について問う	(1) スマートフォン一つで各種手続き等ができるとのことだが、どのような手続きを考えているか (2) 高齢者向けのスマートフォン講習会の開催は、具体的にどのように実施していく考えか	
7 住み続けられるまちづくりについて	1 第7次総合計画の策定に向けて開催した「とうかいまちづくり大学」や「とうかい未来づくり会議」及び脱炭素社会の実現に向けた取組について問う	(1) 「とうかいまちづくり大学」や「とうかい未来づくり会議」で、どのような意見があったか (2) 「ゼロカーボンシティ」を市内外に広く発信していきたいとのことだが、具体的にどのようにしていくのか	

質 問 者	4 村 瀬 晃 代 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 ゼロカーボンシティ宣言の表明について	1 ゼロカーボンシティを目指すことを宣言したことについて問う	(1) 脱炭素化の目標年を2050年から前倒す企業もあるが、どう受け止めているか (2) 本市の地球温暖化対策は具体的にどのような計画か。また、企業にはどのようなアプローチをするのか	
2 まち・ひとを守るについて	1 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する高齢者への配慮について問う	(1) 現時点で高齢者への接種率はどのようなか。また、市内の高齢者施設における入所者の3回目の接種実績はどのようなか (2) 令和3年度のタクシー送迎の利用実績はどのようなか。また、令和4年度の予算はどのようなか	
	2 防災・減災対策について問う	(1) 地震や風水害で大きな被害がもたらされることが想定される地域は市内のどこか。また、それぞれの対応策はいかに (2) 更新した防災マップの配布はいつになるか (3) 市民への緊急情報の伝達手段について、即時性を強化する取組を試行的に実施していくとのことであるが、具体的にはどのようなか	
3 人を育むについて	1 本市の未来を担う子どもたちが夢と希望を育む環境づくりを進めていくとのことであるが、その中における子どもたちの健やかな成長につながる様々な体験をする機会の確保について問う	(1) 令和3年度末で小学校の部活動(課外活動)が廃止されるが、子ども教室の週3回開催への拡充の具体的内容はいかに	
	2 小中学校のトイレの環境整備における、トイレの洋式化等の全面改修について問う	(1) トイレの洋式化等について、学校施設の長寿命化計画に合わせて検討とあるが、長寿命化計画ではどのように位置づけられているか	
4 暮らしを応援するについて	1 高齢者の健康づくり・生きがいづくりにおけるタクシー料金助成について問う	(1) 通常のタクシーの料金助成を要介護1・2の高齢者へ拡大していくとのことであるが、高齢者の外出促進に向けて、75歳以上の高齢者全員に、タクシーチケットを配布してはどうか	

5 まちをつくるについて	1 本市の広域的な交通ポテンシャルの高さや立地特性を活かしたまちづくりを進めるための新駅を中心とした宅地開発等について問う	(1) 名鉄河和線の新駅は、平成の初めごろには中ノ池地内に建設する計画もあったが、新駅建設を期待していた中ノ池地区の住民の気持ちに対して、市はどのように考えているか (2) 加木屋町北社山地区は、自然のビオトープもあり、緑豊かな土地であったが、開発による環境破壊について、市はどう考えているのか	
6 ひとを呼ぶについて	1 もみじ祭りと聚楽園大仏のライトアップについて問う	(1) 令和3年度の事業実施による集客はどのようなか。また、費用対効果はいかに (2) ライトアップだけでは不満との声もあり、出店を誘致するといった事業を同時に開催してはどうか	
	2 文化センターにかわる新たなまちづくりの拠点施設について問う	(1) 施設のコンセプトには、尾張横須賀まつりもメインになると考えられるが、祭りについて、基本コンセプトにどのように位置づけていく考えか (2) 名鉄尾張横須賀駅と近接しているが、施設までのスムーズな誘導方法やそのための工夫をどのように考えているか	
7 新たな生活をつくるについて	1 スマートフォン一つで各種手続きなどができるシステムの開発を進めることについて問う	(1) 市民が市役所に出向かずに手続きができるシステムは、現在実用化されているものではどのようなものがあるか。また、今後どのような手続きが可能になると想定されているか	
8 住み続けられるまちづくりについて	1 国は2030年までに民生部門の電力消費に伴う二酸化炭素排出の実質ゼロを目指す「脱炭素先行地域」を募集し、補助対象にすると発表した。これに102自治体で合計79件の応募があったが、脱炭素社会の実現に向けた本市の考えについて問う	(1) 国が募集する「脱炭素先行地域」に今後、本市が応募する考えはいかに	

質 問 者	5 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 まちも人も元気で誇れるまちづくりに向けての取組等について問う	(1) 「市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、市民本位の行政運営を心掛けてまいります。」とあるが、どのような方法で市民の声を聞こうと考えているか (2) 時代の変化にもしっかりと対応し、東海市を誰もが誇れるまちに発展させるとあるが、「時代の変化」及び「誰もが誇れるまち」とは、具体的にどのようなものと考えているか	
2 ゼロカーボンシティ宣言の表明について	1 本市における脱炭素社会の実現について問う	(1) ゼロカーボンシティ宣言が、知多地域の市の中で、本市が最後となった理由は何か (2) コークス炉の更新等の大規模な設備投資は、税収面からだけでなく、カーボンニュートラルの実現に寄与する面もあると考えるが、どのように分析しているか	
3 経済見通し・本市を取り巻く状況について	1 令和4年度の予算編成について問う	(1) 市民生活の安心・安全を確保し、「コロナに打ち克ち、新しい生活・未来を切り開く」ため、積極的な予算編成をしたとしているが、具体的にどのような施策にあらわれているか	
4 まち・ひとを守るについて	1 本市の新型コロナウイルス感染症対策について問う	(1) これまでワクチン接種等の感染予防対策を実施してきたとあるが、今後実施予定のワクチン接種以外の感染予防対策はどのようなか	
	2 防災・減災対策における市民への緊急情報の伝達手段について問う	(1) 市民への緊急情報の伝達手段について、全国瞬時警報システム(Jアラート)と既存の緊急速報メール、市ホームページ、防災ツイッター等の情報媒体を連動させることで、即時性を強化する取組を試行的に実施するとしているが、メールやホームページを利用できない高齢者等に対する伝達手段をどのように考えているか	
5 人を育むについて	1 教職員の長時間労働に対する方策について問う	(1) 教職員の長時間労働に対する方策として、小学校の課外活動は令和3年度末で廃止となるが、中学校の教職員に対する方策はどのようなか	

	2 小中学校のトイレの環境整備について問う	(1) トイレの洋式化等の全面改修について検討するとあるが、感染症対策としても緊急性があるため、実施に向けた計画を早急に立てるべきと思うが、どのように考えているか	
6 暮らしを応援するについて	1 結婚、出産、子育てへの切れ目のない支援について問う	(1) 市内で出産できる環境をつくるためにどのような取組を行ったか。また、見通しはどのようなか	
	2 高齢者の健康づくり・生きがいづくりについて問う	(1) 高齢者支援施策の一部見直しの中で、変更される主な事業は何か。また、その理由はどのようなか	
7 まちをつくるについて	1 新駅を中心としたまちづくりについて問う	(1) 生活利便性の高いコンパクトなまちづくりを進めるとあるが、具体的にはどのような施設のあるまちを想定しているか	
8 ひとを呼ぶについて	1 文化センターにかわる新たなまちづくりの拠点施設について問う	(1) 「横須賀文化の発信拠点」、「映像を中心とした創造活動の場」、「多世代交流の場」という三つの基本コンセプトを体現できる施設としているが、具体的にはどのような機能を持った施設を考えているか (2) これまで文化センターを拠点に活動していた団体等が、新たな施設でも活動が継続できるようにすることを考えているか	
	2 農業センターのリニューアルについて問う	(1) 「健康づくり」や「観光交流」の視点を取り入れた新しい機能を持つ施設とは、どのような施設を考えているか	
9 新たな生活をつくるについて	1 持続可能な地域社会を構築するための地域づくりについて問う	(1) コミュニティを中心とした新たな地域運営体制を構築する上での課題はどのようなか	
10 住み続けられるまちづくりについて	1 SDGsの理念を活かしたまちづくりについて問う	(1) SDGsの理念を活かし、「持続可能性」の観点からまちづくりに取り組むとあるが、持続可能なまちの実現に向けた課題はどのようなか	